

天門十三年春二月廿三日
...

惟宗廣言集 自永曆 至壽永

春

元日のあけ後

...

行路子日

...

霞前十そらと伝

...

...

名所霞

お林苑

長き道のなほしむる旅の宿に
震敷園路入

あ坂の地をゆく旅の宿に

海邊霞

の宿をゆく旅の宿に

鶯

春の宿をゆく旅の宿に

曉鶯

什歌

我々の宿をゆく旅の宿に

新築の宿

宿ち地をゆく旅の宿に

百首中歌書

なほの宿をゆく旅の宿に

山家歌

人の宿をゆく旅の宿に

竹林苑の宿

春の宿をゆく旅の宿に

宰相入道教長前合の宿

春の宿をゆく旅の宿に

用ひの宿

我う海きよあよもあはらふたはる海にやるさる雲

侍従家隆家可合苑

あはらふたはる海にやるさる雲

日吉文合苑

湖まて見まのあすもあはらふたはる海にやるさる雲

公卿后と入あはらふたはる海にやるさる雲

あはらふたはる海にやるさる雲

あはらふたはる海にやるさる雲

あはらふたはる海にやるさる雲

あはらふたはる海にやるさる雲

あはらふたはる海にやるさる雲

あはらふたはる海にやるさる雲

あはらふたはる海にやるさる雲

刑部之頼補朝臣家可合場鷹

あはらふたはる海にやるさる雲

歎をを慣放院浄會

あはらふたはる海にやるさる雲

夏十五首

更衣

あはらふたはる海にやるさる雲

禁中更衣

ちのまきよきつらるる及らぬ様なるものありて
名所卯花

志のえまてなりぬるやとてあはれはらむものありて
日吉の合歌云

子らうねぬるにほのけきよきよきよきよきよきよ
侍従家隆の合歌云

一とよみよきよきよきよきよきよきよきよきよ
暮天歌云

唐より来りてよきよきよきよきよきよきよきよ
馬上歌云

かきよきよきよきよきよきよきよきよきよきよ
海邊歌云

小松より来りてよきよきよきよきよきよきよきよ
哥林花の合歌云

五月の雨のよきよきよきよきよきよきよきよ
連日五月の

はらうきよきよきよきよきよきよきよきよきよ
孩者五月雨 供花

はらうきよきよきよきよきよきよきよきよきよ
はらうきよきよきよきよきよきよきよきよきよ

野種時雨 賀茂

けふぬふ胡くる袖の露さきさきとれよとらるるけふのうら
 ちきりさきさきとて細代奥のつとまきぬくちかちか
 見はけりちきりの花さくあはれあよりのみちのふとせしむ
 ちきりあああさきさきとちかちか母寒草さき
 ちきりさきさきとすさきさきとさきさきとさきさきと
 月夜に李桃胡名の家前合山庄袖雪さきさきと
 とちかちかちかの葉さきさきとさきさきとさきさきとさき
 行路雪深 賀茂
 高きもさきさきとさきさきとあはれ坂の園のさきさきとさき

雪中春来 賀茂

降はらるるさきさきとさきさきとさきさきとさきさきと
 湖上水鳥 賀茂

清らなるまはれ入はれさきさきとさきさきとさきさきとさき
 月前水鳥 賀茂

すこのあはれ月さきさきとさきさきとさきさきとさきさきと
 月前水鳥 白川

春あはれさきさきとさきさきとさきさきとさきさきとさき
 旅泊干鳥

さきさきとさきさきとさきさきとさきさきとさきさきとさき

おひの寝弱の海へおひの寝弱の海へおひの寝弱の海へ

月あゝうさ

月あゝおひの寝弱の海へおひの寝弱の海へおひの寝弱の海へ

老後也

おひの寝弱の海へおひの寝弱の海へおひの寝弱の海へ

湯舎他人也

おひの寝弱の海へおひの寝弱の海へおひの寝弱の海へ

おひの寝弱の海へおひの寝弱の海へおひの寝弱の海へ

おひの寝弱の海へおひの寝弱の海へおひの寝弱の海へ

後助也 おひの寝弱

おひの寝弱の海へおひの寝弱の海へおひの寝弱の海へ

おひの寝弱の海へおひの寝弱の海へおひの寝弱の海へ

おひの寝弱の海へおひの寝弱の海へおひの寝弱の海へ

おひの寝弱 おひの寝弱

おひの寝弱の海へおひの寝弱の海へおひの寝弱の海へ

寝人悪人 おひの寝弱

おひの寝弱の海へおひの寝弱の海へおひの寝弱の海へ

おひの寝弱 おひの寝弱

おひの寝弱の海へおひの寝弱の海へおひの寝弱の海へ

おひの寝弱 おひの寝弱

